

SILVER UNIFORM

UP303 シルバーユニフォーム

取扱説明書

 **ユニパック株式会社**

《はじめに》

この度は、ユニパーウインチをお買上げいただきありがとうございます。
安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読み下さい。
使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解の上で、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

注意文「 警告」 「 注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「 警告」と「 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

尚、「 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

「 警告」・・・誤った取扱をしたときに、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容の注意。

「 注意」・・・誤った取扱をしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容の注意。

「 警告」・「 注意」以外に製品の据え付け、操作のメンテナンス等に関する重要な注意事項は「(注)」にて表示しています。

安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

■ 安全上のご注意

- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。

お読みになった後はお使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

取扱上の注意

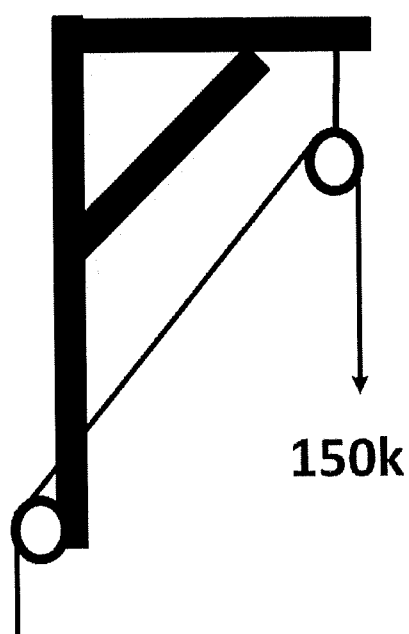
- ・使用前に作業前点検を実施し、損傷部分があった場合は使用を中止して下さい。
- ・本機を取付けるパイプ足場等には曲げモーメント300kg・mがかかりますので強度の確認をお願いします。
- ・取付クランプ(3カ所)のナットの締付けトルクは、35kg/10cmのトルクで確実に締め付けて下さい。
- ・定格総荷重は、使用するウインチの能力内で使用し、下記表記の総荷重内で作業して下さい。
- ・クランプ適合パイプ径：φ42.7、φ48.6 をご使用下さい。
- ・吊荷中は介錯ロープの真下付近には人を立ち入らせてはいけません。
- ・人の吊上げには使用しないで下さい。

製品規格

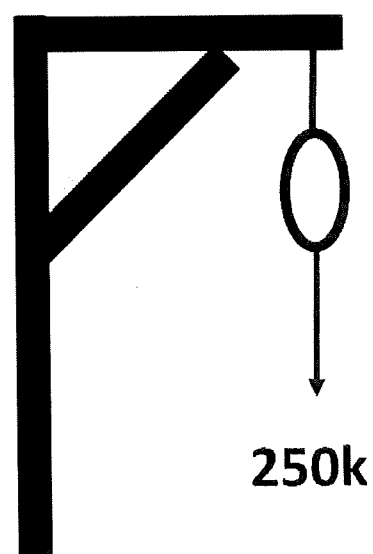
旋 回 半 径	724mm
旋 回 角 度	226度
アーム本体重量	14.0kg
介錯アーム重量	1.8kg

アーム定格総荷重

下置ウインチ



吊下げウインチ



【本機の特長】

ウインチのワイヤードラムから、最上部へ取付けられたシルバーユニアームのシーブへ垂直にワイヤロープを回すことでアームが軽く振れるようになり、安全に部材の取り込みを行うことができます。

また、介錯ロープをテコの原理を応用し軽く引くことで、植木・下屋根・アサガオ等の障害物を交すことが可能になりました。この2点が本機最大の特徴と言えます。

【介錯アームを使用するメリット】

介錯ロープをガイド代わりにして吊荷を揚げられます。

【内容詳細】

- ① ブラケットアーム先端に介錯アームを取付、そこへ介錯ロープを取付、ラッチロックフック式フックに補助ロープの付いた滑車(サンマブロック)を付け介錯ロープをガイドレール代わりにし、荷を吊り揚げる事ができます。
- ② 介錯ロープをガイドレール代わりにできる事で、現場で荷揚げ場所にアサガオ部分や下屋根等の障害物がある場合もかわして荷揚げする事ができます
- ③ 介錯ロープをガイドレール代わりにする事で、吊荷の回転を防止できます。
- ④ 介錯ロープ自体が上がったり下がったりしないので下で補助する作業者はロープを引くだけで安定した荷揚げができます。また介錯ロープはブラケット先端から降ろしているだけなので、フックを降ろした際にロープが足元に散らからず安全。
- ⑤ 介錯ロープの扱いが楽になるだけでなく、作業者は荷揚げ時、手の平が熱くなったり、フックを降ろした時にロープをたぐる事をしなくて済みます。
- ⑥ 据え置き型ウインチを使用した場合、ブラケットアームを回転させることが難しい場合がありますが、本体回転軸からワイヤーを取り出して回転軸部分に回転しやすい工夫をしていますので荷取りの際に軽く振る事ができます。
- ⑦ 一側足場、次世代足場のポケットもかわして設置する事ができます。
- ⑧ 介錯アームの取付、取外しは部品の落下を防ぐ方法で、取付はワンタッチ、取外しは安全を考慮してツータッチでできます。

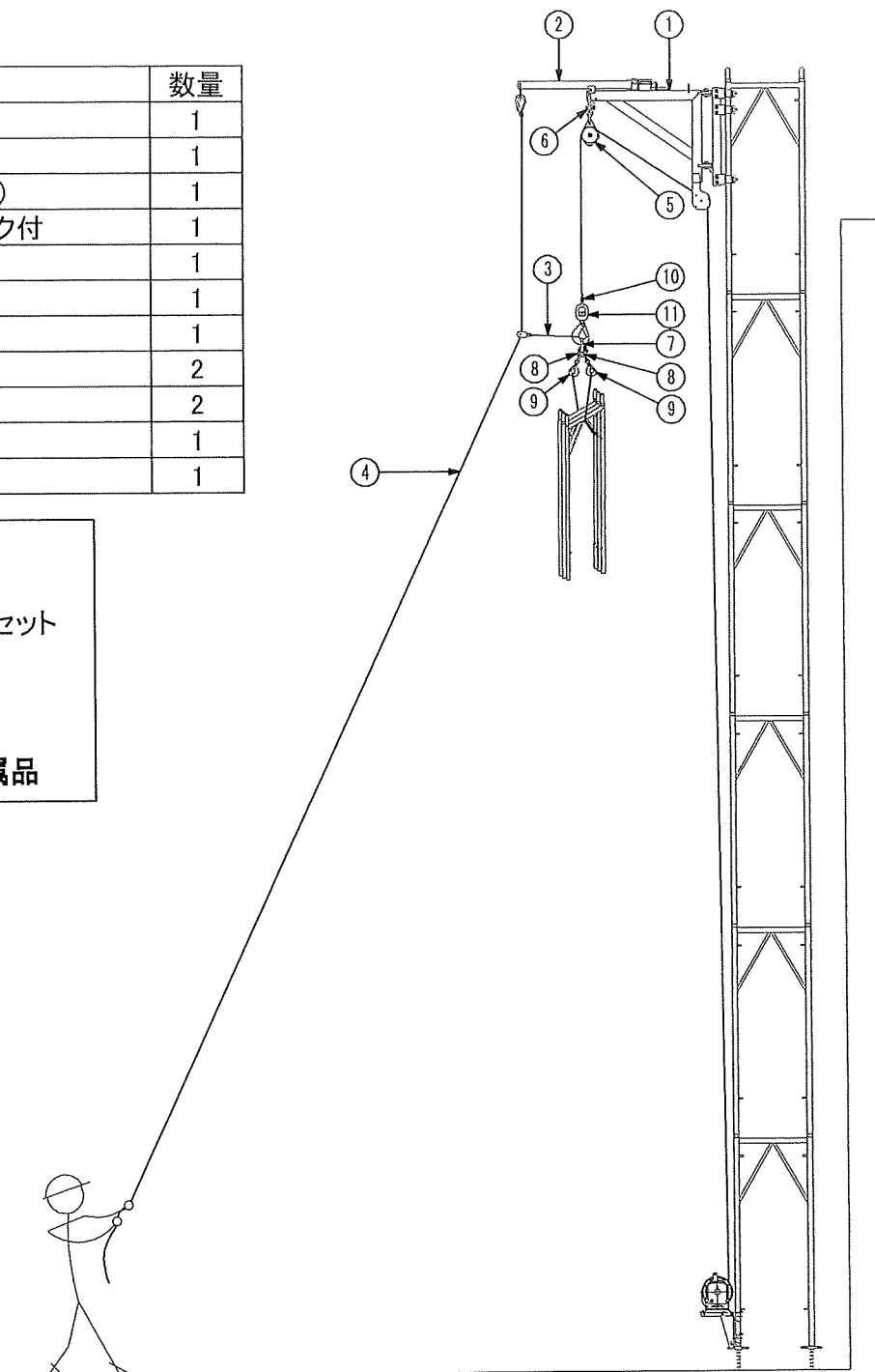
UP303 シルバーユニアーム

	品 名	数量
①	シルバーユニアーム(本体)	1
②	介錯アーム	1
③	補助ロープ(サンマブロック付)	1
④	介錯ロープ(PP材) 大径フック付	1
⑤	オタフク滑車 SB-5F	1
⑥	シャックル SB-14	1
⑦	打抜きリング 16×70	1
⑧	シャックル SB-12	2
⑨	ラッチロックフック(小)	2
⑩	シャックル RS-2t	1
⑪	ラッチロックフック(大)	1

セット内容

- ①～③ シルバーユニアームセット
- ④～⑦ 吊具セットA
- ⑧～⑨ 吊具セットB

⑩、⑪は、疾風ウインチの付属品

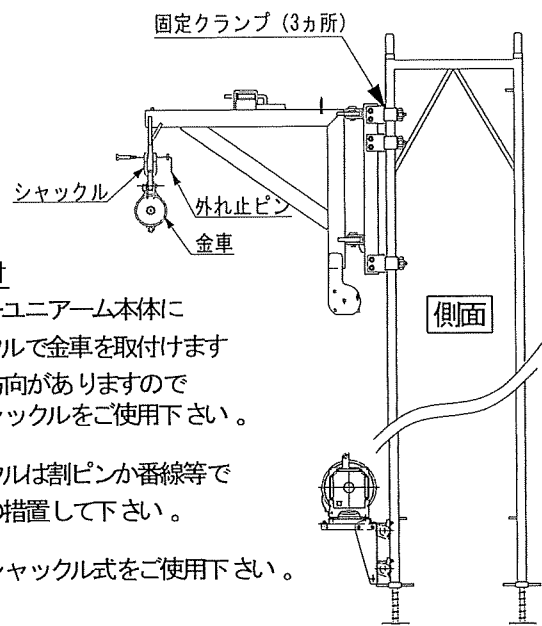
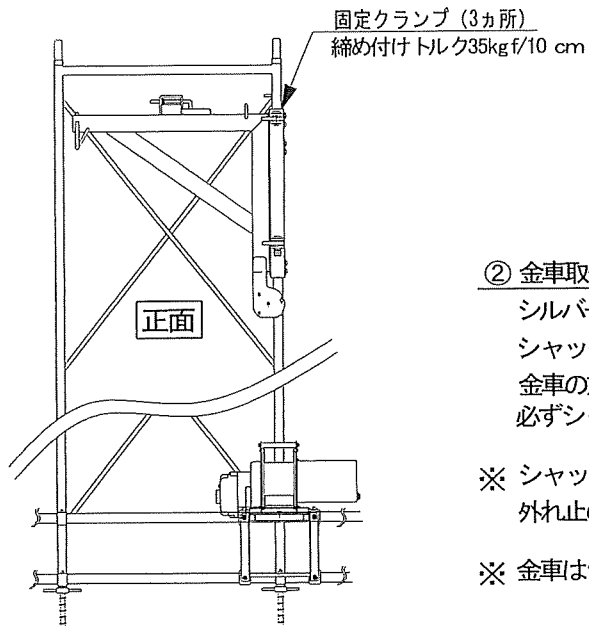


シルバーユニアーム 介錯ロープ吊上げ仕様

1. ②介錯アームへは、指定の④介錯ロープを必ずご使用下さい。太さ12mm又は14mmをご使用下さい。
2. ⑤滑車は、シャックル固定でシーブ径100mm以上の物をご使用下さい。(フック式は使用禁止)
3. ⑪ラッチロックフック 4.2t用を必ずご使用下さい。

注意: 吊荷は⑪ラッチロックフック(大)に直接吊らない事⑦リングを用いて⑧シャックル⑨ラッチロックフック(小)を使用します。(P7 ⑧参照)

シルバーユニアーム取付方法 ①



② 金車取付

シルバーユニアーム本体に
シャックルで金車を取付けます
金車の方向がありますので
必ずシャックルをご使用下さい。

※ シャックルは割ピンか番線等で
外れ止の措置して下さい。

※ 金車はシャックル式をご使用下さい。

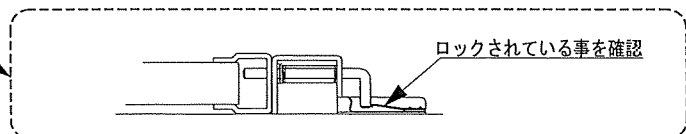
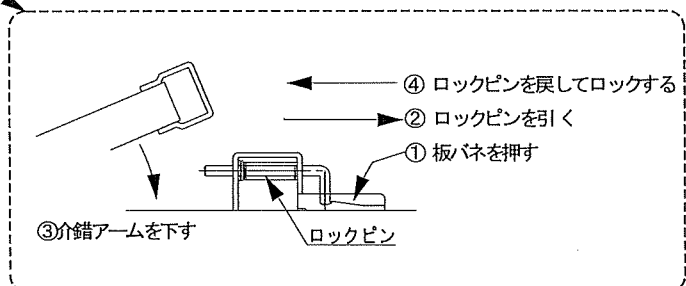
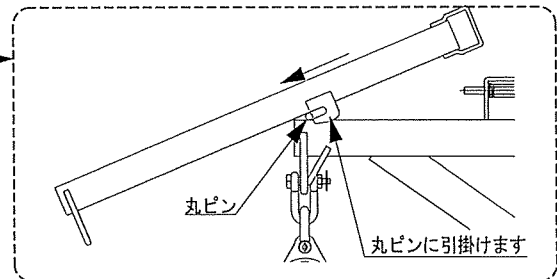
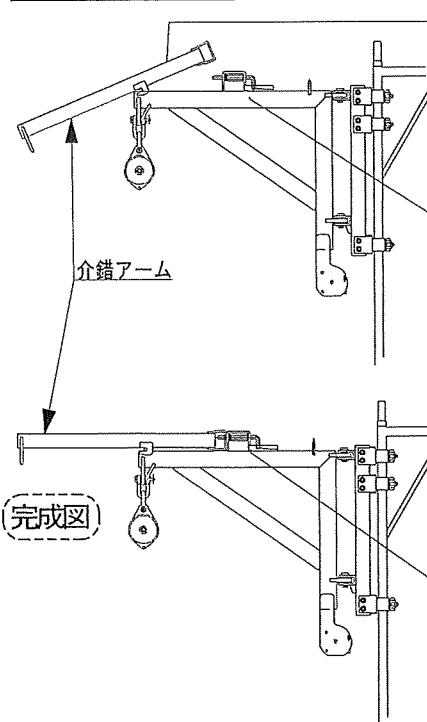
① シルバーユニアーム本体取付

支柱のセンターにウインチドラムのセンターを合せ
その線上にシルバーユニアームを取付けます。

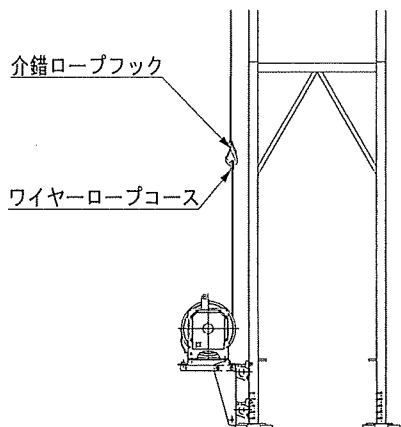
※ 適合パイプ径 : $\phi 42.7$ $\phi 48.6$

※ 十分な強度を確保した足場に取り付けて下さい

③ 介錯アームの取付



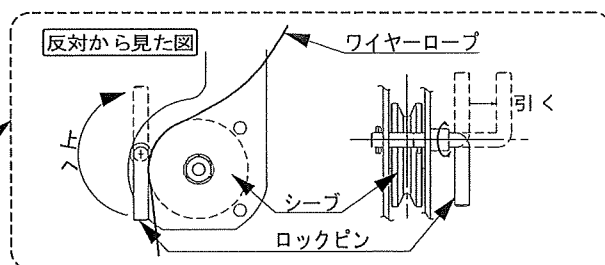
シルバーユニアーム取付方法 ②



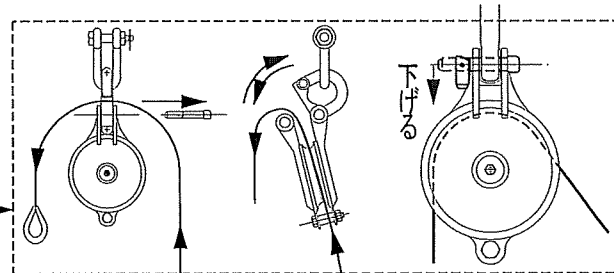
④ ワイヤーロープの取り回し

介錯ロープを最上部からウインチまで降ろして
介錯ロープに付いているフックをワイヤコースに
引掛け、操作スイッチの下を押してワイヤーロープを
引出して下さい。

※ 介錯ロープは、12mm又は14mmをご使用下さい。

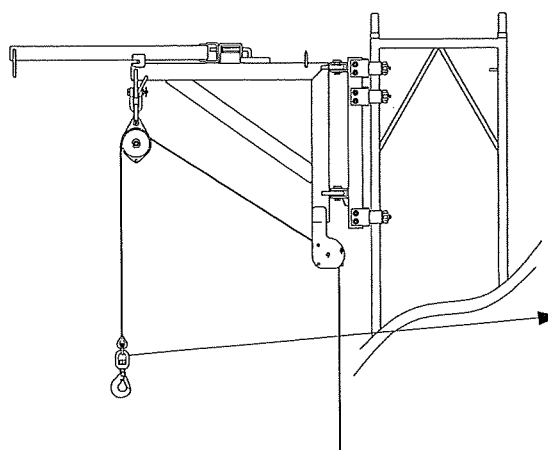


※ シルバーユニアーム本体下のロックピンを上に戻し
ロックピンを手前に引く、ワイヤーロープを通し
ロックピンを元に戻し、ロックを確認して下さい。

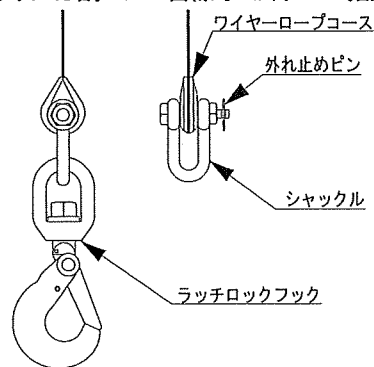


金車のロックピンを外し、ワイヤーロープを上記図の様に
ワイヤーを通し、ロックピンを差し込みピンの先端を90°
下に折り曲げて 抜けない事を確認して下さい。

⑤ ラッチロックフック取付



コースにシャックルを用いてラッチロックフックを取付して下さい。
※ シャックルは割ピンか番線等で外れ止め措置をして下さい。



シルバーユニアーム取付方法 ③

⑥ 介錯ロープ取付

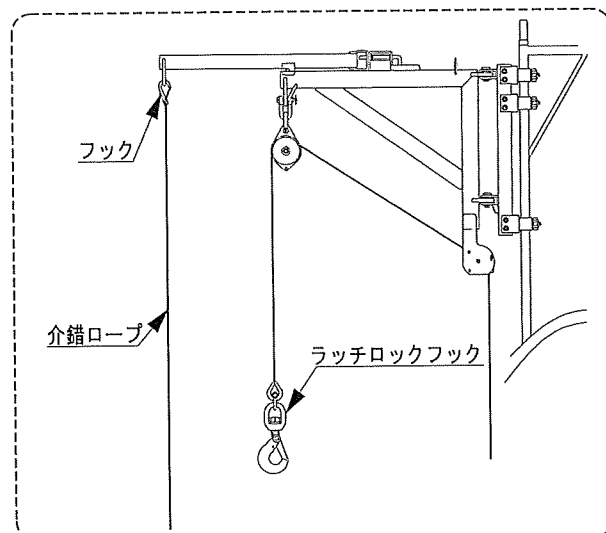
介錯ロープのフックを介錯ロープ専用アームに引掛けて下さい。

ロープの場合は、落ちないようにしぼるか、シャックル等を用いて下さい。

※ 介錯ロープは、12mm又は14mmをご使用下さい。

⑦ ラッチロックを下へ移動

操作スイッチボタンの下を押し、ラッチロックフックを最下位置まで降ろします。



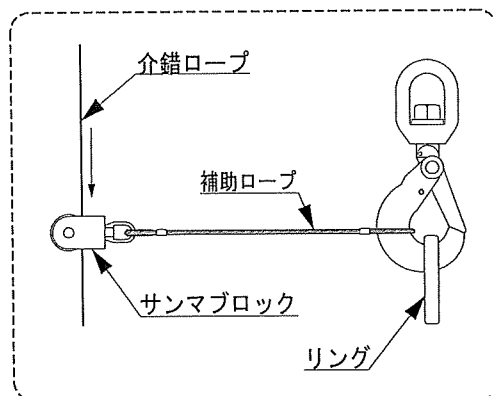
⑧ 補助ワイヤーの取付

介錯ロープの末端をサンマブロックの滑車に通します。補助ロープ反対側のワイヤーをラッチロックフックに引掛けます。

⑨ リング取付

ラッチロックフックにリングを入れフックをロックする。そのリングにフック等付けて下さい。

※ ラッチロックフックに直接玉掛ワイヤー等を引掛けないで下さい。補助ロープが外れる恐れがあります。

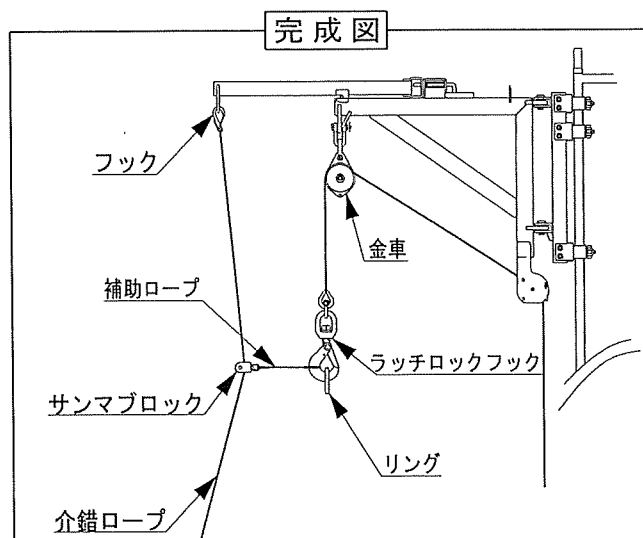


⑩ 試運転

2～3回上下し動作確認をした後、作業を行って下さい。

※ 異常が見受けられた場合、中止して下さい。

※ ワイヤーロープのたるみがあった場合は巻き直してから試運転を行って下さい



シルバークラム使用例

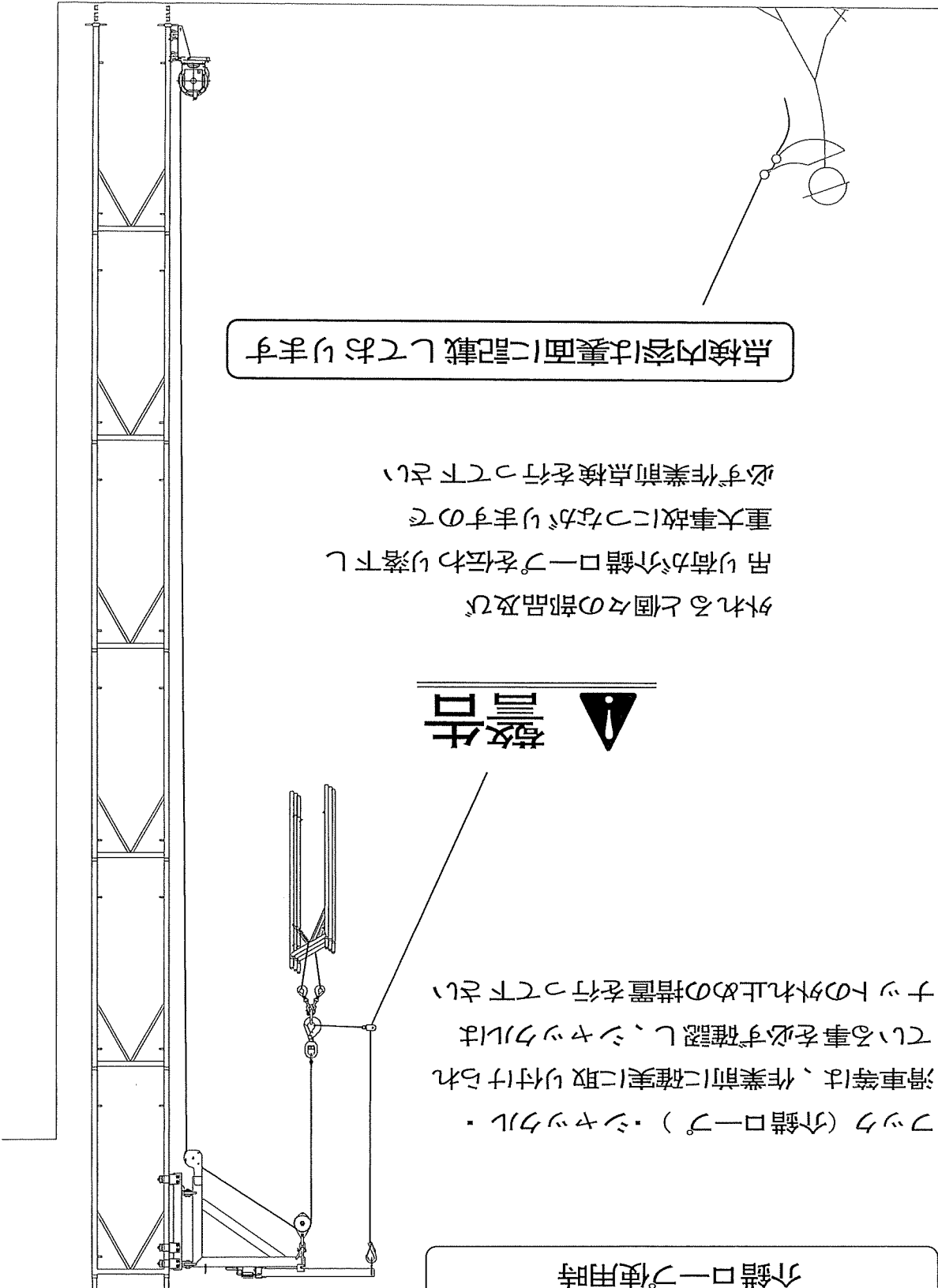
介錯ロープ使用時

フック（介錯ロープ）・シヤツクル・滑車等は、作業前に確実に取り付けられている事を必ず確認し、シヤツクルはナットの外れ止めの措置を行って下さい

！ 警告

外れると個々の部品及び
吊り荷が介錯ロープを伝わり落下し
重大事故につながりますので
必ず作業前点検を行って下さい

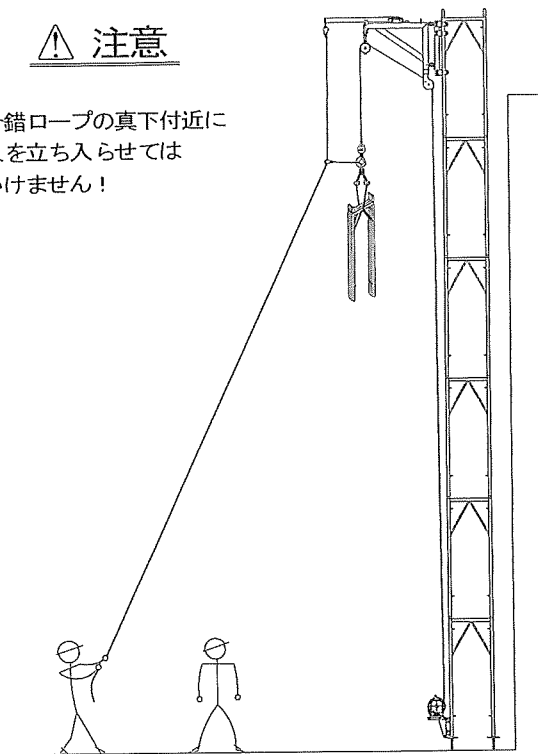
点検内容は裏面に記載しております



ワイヤーロープ取扱による想定事故 ①

⚠ 注意

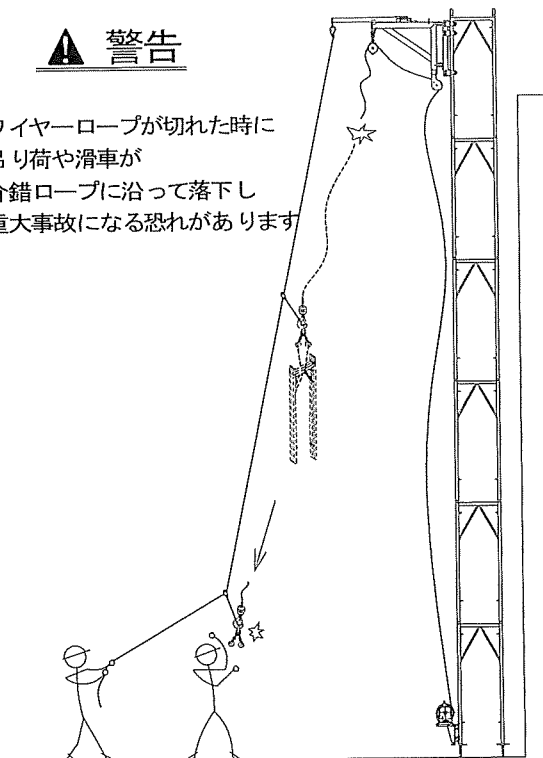
介錯ロープの真下付近に
人を立ち入らせては
いけません！



ワイヤーロープ取扱による想定事故 ①

⚠ 警告

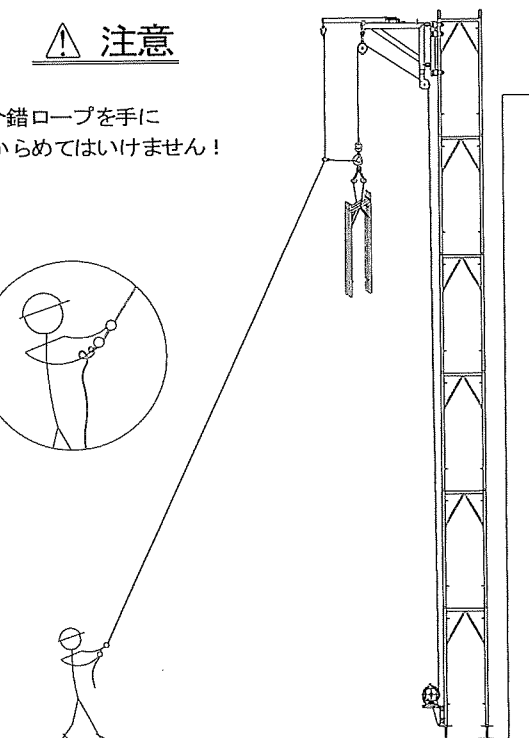
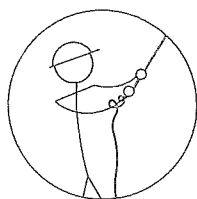
ワイヤーロープが切れた時に
吊り荷や滑車が
介錯ロープに沿って落下し
重大事故になる恐れがあります



ワイヤーロープ取扱による想定事故 ②

⚠ 注意

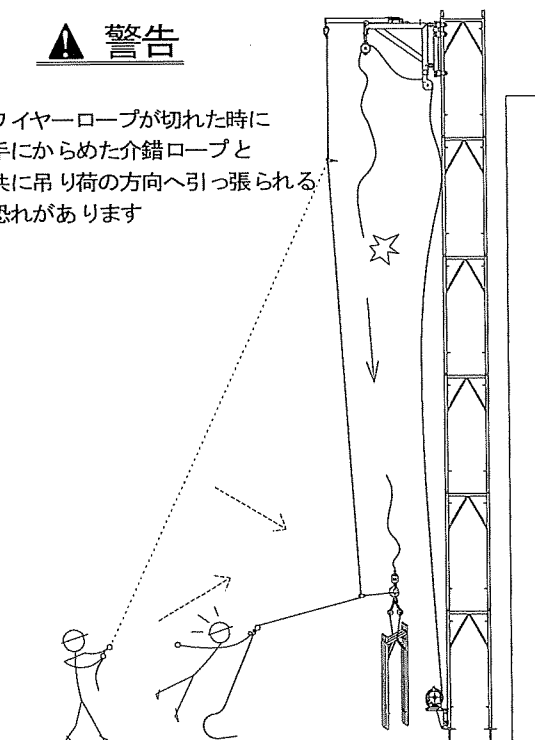
介錯ロープを手
にからめてはいけません！



ワイヤーロープ取扱による想定事故 ②

⚠ 警告

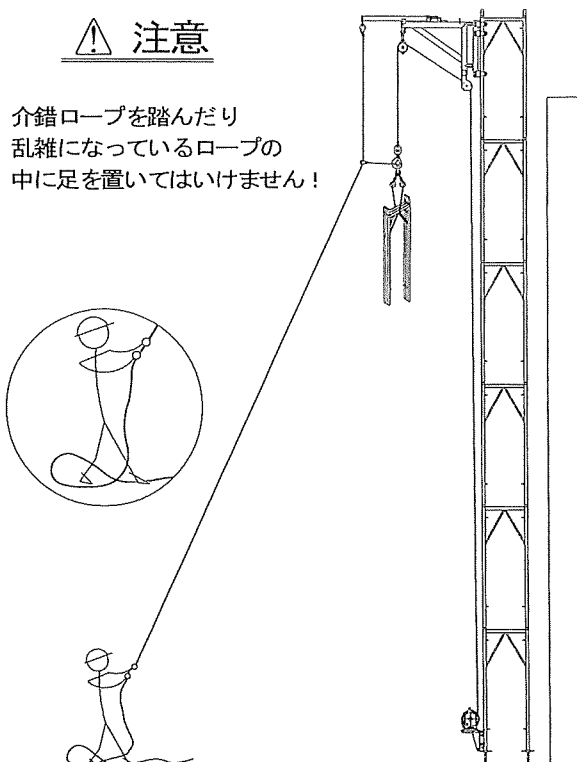
ワイヤーロープが切れた時に
手にからめた介錯ロープと
共に吊り荷の方向へ引っ張られる
恐れがあります



ワイヤーロープ取扱による想定事故 ③

⚠ 注意

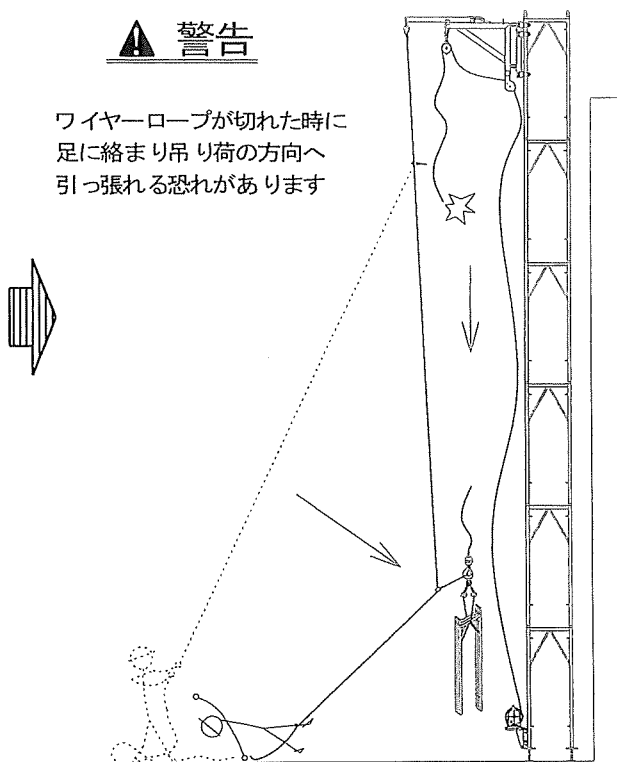
介錯ロープを踏んだり
乱雑になっているロープの
中に足を置いてはいけません！



ワイヤーロープ取扱による想定事故 ③

⚠ 警告

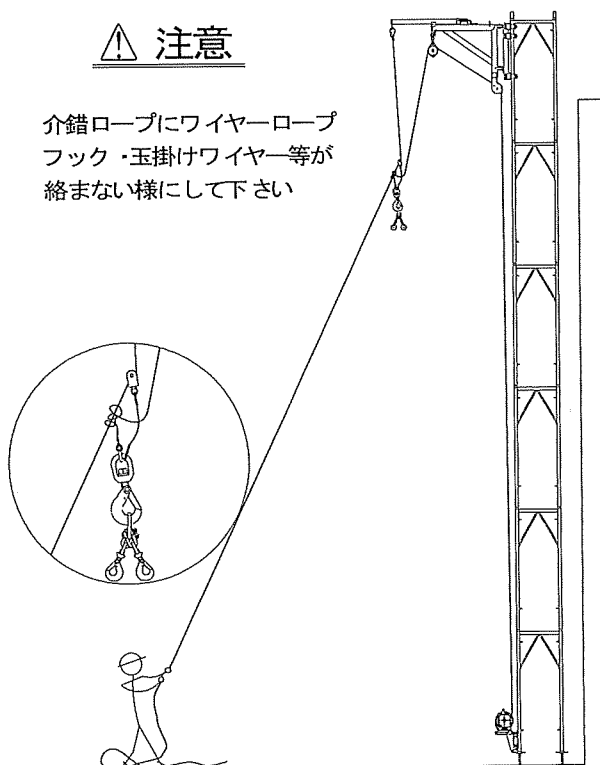
ワイヤーロープが切れた時に
足に絡まり吊り荷の方向へ
引っ張れる恐れがあります



ワイヤーロープ取扱による想定事故 ④

⚠ 注意

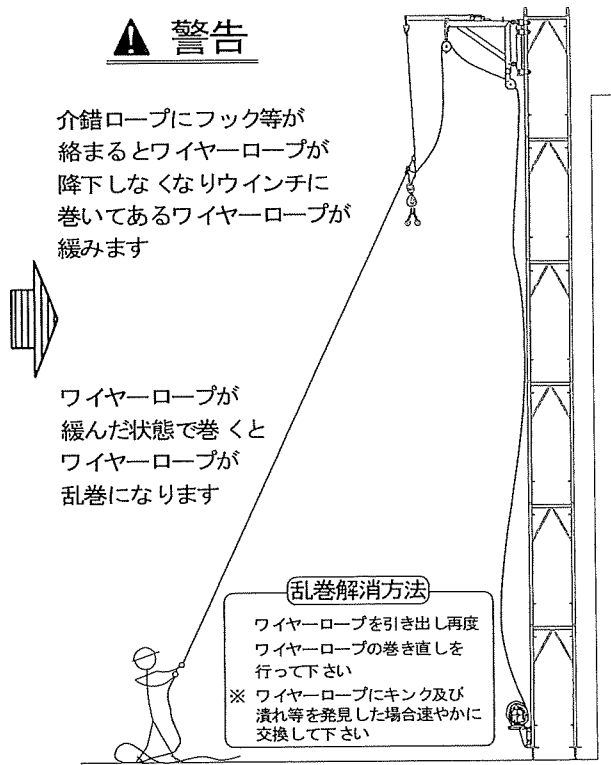
介錯ロープにワイヤーロープ
フック・玉掛けワイヤー等が
絡まない様にして下さい



ワイヤーロープ取扱による想定事故 ④

⚠ 警告

介錯ロープにフック等が
絡まるとワイヤーロープが
降下しなくなりウインチに
巻いてあるワイヤーロープが
緩みます



ワイヤーロープが
緩んだ状態で巻くと
ワイヤーロープが
乱巻になります

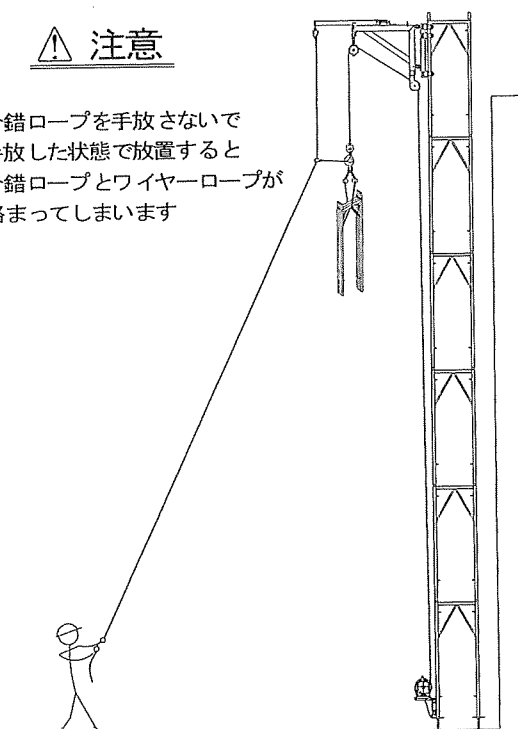
乱巻解消方法

ワイヤーロープを引き出し再度
ワイヤーロープの巻き直しを
行って下さい
※ ワイヤーロープにキンク及び
潰れ等を発見した場合速やかに
交換して下さい

ワイヤーロープ取扱による想定事故 ⑤

⚠ 注意

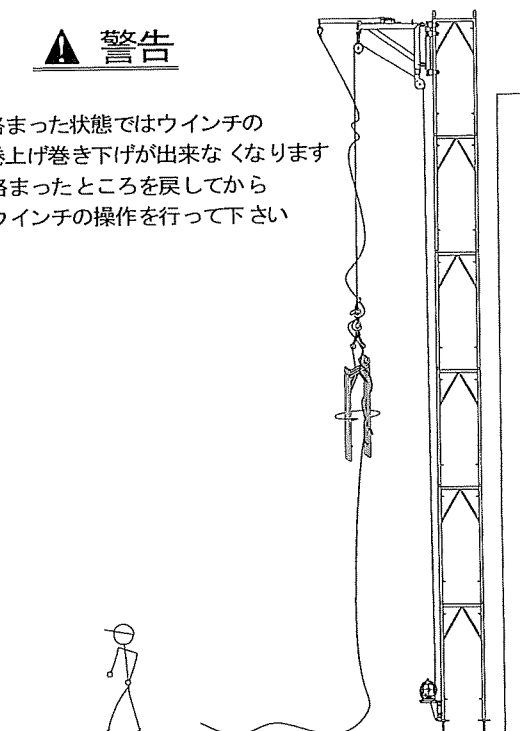
介錯ロープを手放さないで
手放した状態で放置すると
介錯ロープとワイヤーロープが
絡まってしまいます



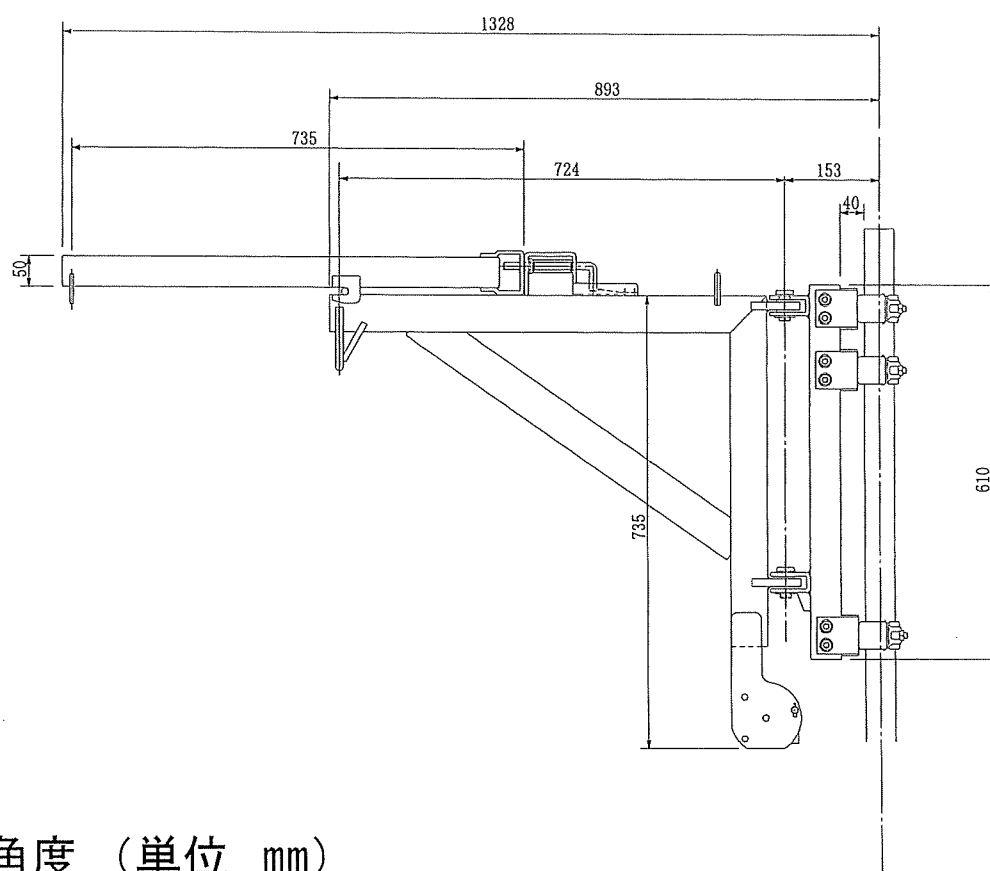
ワイヤーロープ取扱による想定事故 ⑤

⚠ 警告

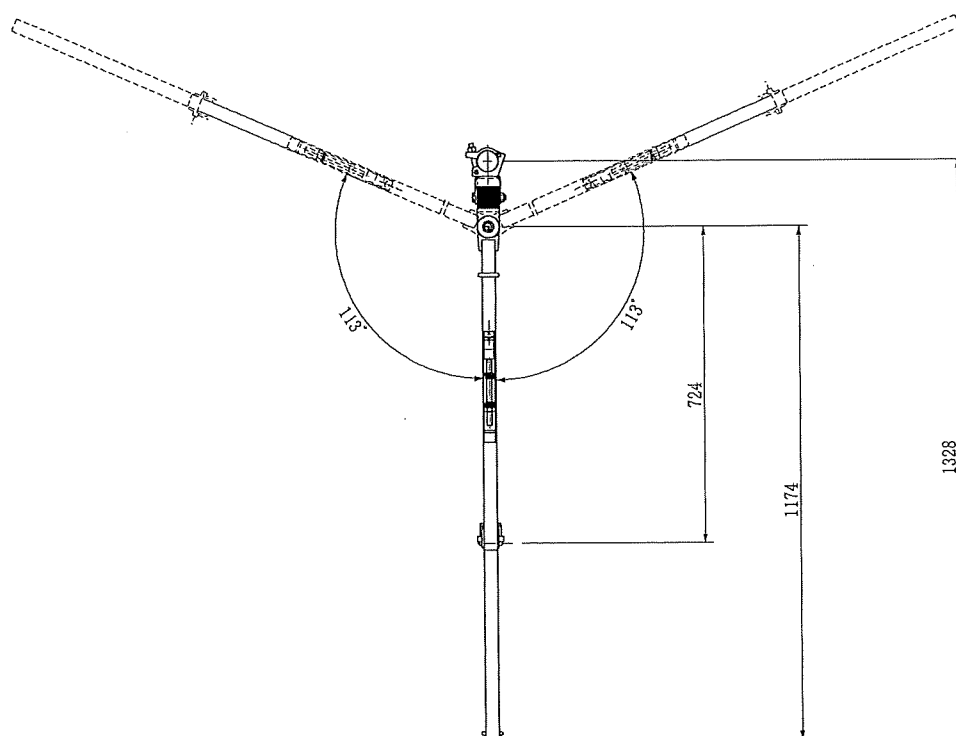
絡まった状態ではウインチの
巻上げ巻き下げが出来なくなります
絡まったところを戻してから
ウインチの操作を行ってください



寸法図（単位 mm）



旋回角度（単位 mm）



UP303シルバーユニアーム 作業始業前点検 チェックリスト

荷揚機を安全に効率よく使用するためには日頃の点検、定期点検が必要です。

点検を欠かさず安全作業に心がけて下さい。

シルバーユニアーム 作業開始前点検チェックリスト

年 月 日 ~ 月 日

点 検 項 目		点 検 結 果							状 況・修 正
		/	/	/	/	/	/	/	
本 体 確 認	各ボルト類の緩み、破損はないか								
	シーブ(滑車)部分の取付は正常か								
	介錯アーム取付けロックは正常か								
	補助ロープのナイロン滑車は正常か								
	錆や腐食はないか								
据 付 ・ 組 立	取付ける足場パイプの強度はあるか								
	固定用クランプの取付は正常か								
	垂直に取付けられているか								
	使用する滑車(金車)の破損はないか								
	シャックル類の外れ止めは付いているか								
	ワイヤーロープは正常に組付けているか								
	介錯ロープにキズ、痛みはないか								
	ラッチロックフックのロックが正常に効くか								
動 作	旋回軸の回転は正常か								
	シーブ(滑車)部分の回転は正常か								
	試運転は正常か								
そ の 他									
点 検 者 確 認 欄									

部品のご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点が御座いましたら、ご遠慮なくお買上げの販売店、またはユニパー(株)にお問い合わせ下さい。

※ 改良のためお断りなく仕様、外観などを変更する事があります。

製造元

 **ユニパー株式会社**

神奈川県横浜市都筑区大熊町814

TEL 045-471-0015

UP788RC-100L

疾風 無線タイプ 部品明細表

〔部品明細〕

No.	部品名・型式	主仕様	数量	備考
1	ウインチ本体	ワイヤー5×100m付	1	
2	ウインチベース		1	
3	ウインチベースプレート	ウインチ本体に取付け	1	
4	電装ボックス	無線仕様	1	
5	無線リモコン(送信機)		1	
6	ラッチロック		1	
7	電源コード(プラグ付)		1	
8	接続コード2m(黒)	8P/8Pプラグ付	1	
9	シャックル	ラッチロック用	1	

追加部品

1	UP303 シルバーユニアーム		1	
2	無線リモコン(送信機)	オプション追加分	1	
3	吊具Aセット		1	
4				
5				
6				

備考

--